

# 第3回定例町議会

平成28年9月13日から14日まで「第3回奥尻町議会定例会」が開会され、2名の議員から一般質問がありました。その質疑応答の概要について紹介します。

## 一般質問

### 国営草地の利用と畜産業の振興を図れ



工藤 勇 議員

**質問**

奥尻町の農業は、小規模経営の稲作と畜産の複合経営を行ってきたが、更に農業経営の安定と畜産業の振興を図るため、約12年間総事業費30億3千万円、計画時目標頭数97頭として国営草地開発事業によって牧場整備を図ってきました。現在は、農家戸数の減少

や高齢化の進展、市場価格の不安定など社会情勢の変化により経営規模が縮小されてきたところですが、このところ市場価格が高水準を取り戻し、需要の伸びが期待されているところがあります。

奥尻町においては、畜産の現状把握と振興策をもって新規就農者の誘致、素牛購入時の支援制度の期間延長と購入費上限の嵩上げの考えと、農業振興として畜産業をどのような位置づけで振興しているのかと答弁をいただきたい。



休採草地31ヘクタール、遊牧野利用馬10頭、米岡牧野馬15頭、獣医師は週1回の来町（緊急時は都度対

新村 卓実 町長

ブランド化で供給できる体制を

**答弁**

畜産業の現状は、飼育農家戸数7戸、飼育頭数247頭（黒毛和種154頭、褐毛和種87頭、交雑種6頭）27年度の出荷額と頭数95頭、5千1百68万8千円、国営草地の使用放牧面積88ヘクタール、採草面積38ヘクタール、遊休放牧地70ヘクタール、遊

応)、年間150万円の補助、人工授精成功率82%、となっている。

新規就農者の誘致と人材育成はしていない。希望があれば支援していきたいと考えている。

素牛購入時の補助については、3年間の支援策(現在2年目)として総額600万円、30頭、上限20万円、当初のとおり進めていく。

国営草地の借地7地権者、面積77ヘクタール、借地料77万3千円、利用率64%となっている。

今後は、放牧管理や負担軽減の見地から、ドローンの導入も考えられると認識している。

畜産業の位置づけについては、奥尻和牛は魅力ある特産品であり、ブランド化を進め、ふるさと納税の贈答品としての販路拡大に努め、町の特産物として安定して消費者に供給できる体制を目指していきたい。

# 観光施設の適正な

# 管理運営を

工藤 勇 議員

### 質問

奥尻町における観光客入込は、減少傾向が続き、関係業界や地域経済に大きく影響している。

観光産業は、地域の魅力づくりが重要課題とされ、行政も関係機関も大変な努力をしていると推察しています。

そんな中、宿泊施設、展示施設、公衆トイレ、景観等、町民や観光客から苦情が寄せられています。

観光は、重要な産業のひとつであり、交通アクセスの安全性、景観を含む観光施設の充実など、町民が納得し自信が持てる、訪れて

財政負担を考慮  
慎重に検討する

新村 卓実 町長

### 答弁

観光関連施設については、経年化が進み様々な苦情や指摘を受けていることは承知をしているが、都度、修繕等に対応しているが、

満足のものではない。いくものとはなっていない。 「佐藤義則 野球展 示室」についても、指摘のようによろしくドアが腐食し

いただいた皆さんが満足していただける景観、施設、対応でなければなりません。行政の持ち分、関係機関の持ち分とあるが、連携したものではない。ば満足度につながらないこと認識していることから景観を含む観光関連施設の適正管理について町長の答弁を願いたい。



開閉できない状況であり、お客様にはご不便をおかけしている。 今後は、施設の改修か新たな場所への移設か検討して参りたい。 また、再三指摘を受けている「うにまる倉庫」については、公共施設総合管理計画を策定し、地方債の活用ができ、また起債が充当できることになれば、来年度解体したいと考えている。 「津波館」についても、展示物の充実や説明資料の英訳標記を計画し、入館者の満足度アップを検討し、集客力の向上を目指していきたい。 観光地のトイレについても、相当の年数が経過し、老朽化が著しい状況にあるが、修繕に必要な予算を確保し対応していきたいと考えている。

# 役場庁舎、病院の

## 建て替え計画は



水野 諭 議員

### 質問

役場庁舎及び病院の老朽化に伴い、近い将来建て替えるが必要と考えます。

病院は約40年、役場庁舎に至っては約60年経過しております。過去に検討されていると思われませんが、直近の協議はいつ話し合いがされていたのですか。

また、町財政も厳しい中、



大変なことは重々承知しておりますが、役場庁舎は町行政の中心、病院は町民の命と健康を守る大切な施設と考えますが、役場庁舎及び病院の建て替え計画はありのでしょうか。

町財政の厳しい中、立地場所・予算的なものがあれば方向性だけでもお聞かせください。

見通しが出来た  
時点で考えたい

新村 卓実 町長

### 答弁

平成26年5月14日の総務産業常任委員会に報告した経緯がある。

幼稚園と議会を取り込んだ庁舎Aタイプ約9億6千万円・消防庁舎と議会を取り組んだBタイプ10億2千万円・議会だけをとり込んだCタイプ8億1千万円というものである。

また、病院には、小学校の構造上、片廊下で動線が不適切であるとの判断があった。

このことから、庁舎建設には財源的に難しい事、さらに病院建設には、同様規模で15億円程度見込まれ、役場と病院同時に建設する

ことは厳しいことから、財源の道筋が見えてから議員各位と協議しながら進めたい旨、報告をしていますが、現在も財源的に目途は立っていない状況である。

立地場所については、役場・病院ともに、現在地が急傾斜地崩壊危険箇所に含まれていることから、建設の際は、より安全な場所が望まれます。なお、旧奥小は、危険区域には属していません。

予算的には、安定的な財政運営を図るため、財政調整基金をどこの町村も設けていますが、当町は、平成27年度末で8億ほどありますが、来年度、繰り出して、予算編成をしなければならぬ状況が予想されていることから、安定的な財政運営には厳しい状況である。財政調整基金を含む積立金合計の管内各町の状況ですが、26年度末で、24億、43億となっている。



大規模災害が頻繁に起きる昨今、最低でも10億、安定的な財政運営を考慮すると、15億の財政調整基金が必要と考えますが、その目標が達成したとき、病院建設・庁舎建設基金を設置し、見通しがたった時点で、建設を考えたい。

また、有効な補助金や起債などを常に考慮しながら、有効な制度が受けられる可能性がある場合は、議員各位とも協議したい。

# 有人国境離島の

## 取り組みは

水野 諭 議員

各種事業の  
推進を要望

新村 卓実 町長

### 質問

(5) おくしり議会だより

本年4月に可決されました有人国境離島法でありますが、この法案の中身については、わが町にとって多くの環境整備に関するメニューが入っており「雇用」・「国の施設整備」・「航路・航空運賃の低廉化」・「輸送費の軽減」・「漁業支援」等が含まれております。町として多くの要望を出していると思っております。

目しておりますが、メニューの中に「港湾・漁港・道路の整備」とあります。近年わが町に大型の客船が来島し、接岸出来ずに沖に停泊となっております。

接岸岸壁を造り、大型客船の誘致、養殖漁業の静穏の確保、観光・国境保全・漁業として本町の事業・雇用につながると思っておりますが、漁港・港湾・道路整備の要望は出していますか。

先日のミサイル着弾で「奥尻沖」と全国放送されておりますが、国からの早い通知があったのでしょうか。

### 答弁

有人国境離島特別措置法については、議員立法であるため、法律が可決成立後、内閣官房・内閣府において、現在、制度設計を行っておりますところでありますが、離島に関する交付金の拡充がされるほか、新たな交付金の創設がされる見込みとなっております。

要望につきましては、本年4月、北海道・北海道離島振興協議会として、国会議員・官庁に対しまして法案成立のお礼に伺ったほか、5月に北海道離島振興協議会で要望をしていく。内容につきましては、航路・航空路の低廉化や物流に要する経費の負担軽減、雇用

の場の確保といった地域振興対策予算の確保、地方財政措置の拡充、港湾等国直轄事業の推進について要望をしているところである。

着弾については、特に通知はなく、報道で初めて知った状況です。報道後、マスコミ各社、道庁から問い合わせが相次ぎましたが、むしろこちらが教えていただきたい状況でした。翌日6日、地元国会議員を通じて、その日に行われた「北朝鮮核実験・ミサイル問題対策本部」の資料をお昼にいただき、同日の課長会議で報告したところである。

内容は、5日午後12時13分頃、弾道ミサイル3発を発射し、千キロ東北東に飛翔し、日本海上に落下したものと推定。飛翔距離から、スカッド又はノドンの可能性であるとの見解があったものである。

議会は町政と皆さんの茶の間をつなぐパイプです。

# 議会を傍聴してみませんか